

6. 委員会報告

幹部会議

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、増田良江、内藤昭貴、尾崎征史、原崎浩之

目的：病院の経営・運営に関する方針の決定

活動内容：市立御前崎総合病院における最高決定機関として、定例会を月に2回開催。基本理念を基に病院のあるべき方向性や当面する数々の問題・課題、病院経営や患者の要望等について協議を行い、方針等を決定した。

運営会議

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、増田良江、内藤昭貴、尾崎征史、原崎浩之、大橋弘幸、大石俊明、飯田晴康、大石康介、深澤宙丸、乙呷公通、吉野弘、高塚正典、佐野信貴、鈴木定孝、境澤潤、寺島聖子、栗田智代、堀井直美、鴛沢仁美、松井順子、川口恭子、村松由利子、鈴木里江、松下知子、岡本律子、岡村映子、堀川照美、村松依見、小田隆弘、岡村亮、匂坂克善、村松光浩

目的：病院の運営に関する重要事項の協議、職員の共通認識を確保するための情報の共有化

活動内容：病院、総合保健福祉センター及びしろわクリニックの各部署の所属長で構成。定例会を毎月開催し、病院、総合保健福祉センター及びしろわクリニックの中長期計画、経営状況、病院のあり方（病院機能評価、各部署間の連携など）や各委員会での決定事項、協議事項について協議、報告等を行い、情報の共有化を図るとともに各部署への周知徹底を図った。

機器選定委員会

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、増田良江、内藤昭貴、尾崎征史、原崎浩之、小田隆弘、山下悠太

目的：購入機器・備品の選定

活動内容：随時開催 各部署から申請のあった翌年度購入機器についての審議のほか、機器の故障等による年度途中の申請について、購入及び機種選定の適否を審議した。

医療事故対策委員会

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、内藤昭貴、増田良江、尾崎征史、原崎浩之、堀川照美、小田隆弘

目的：医療事故の予防・再発防止対策並びに発生時の適切な対応など、医療安全体制を確立し、適切かつ安全な質の高いサービスを提供

活動内容：1) 医療事故発生時、委員会開催
2) 医療事故調査機構報告と対応等

医療安全管理委員会

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、内藤昭貴、増田良江、尾崎征史、原崎浩之、堀川照美、岡村亮、小田隆弘

目的：適切な医療安全の提供

- 活動内容：1) 月1回 委員会開催
2) 医療事故対策委員会開催
3) アクシデント・インシデント事例の報告及び対策検討
4) 患者サポート室の報告及び対応の検討

医療安全管理者会議

委員長：山下大輔

委員：尾崎征史、戸塚啓二、鈴木定孝、永田富久美、堀川照美、松井順子、岡村亮、平松千鶴

目的：患者が安全で快適な環境に居るのかをラウンドを通して、各部門の安全管理者の多角的な視点で話し合い、安全かつ適切な医療を提供できるように推進していく。

- 活動内容：1) 月1回 委員会開催、週1回 院内安全ラウンド
2) アクシデント・インシデント事例の報告及び事例分析
3) 医療安全対策立案への支援
4) 患者・家族からの医療相談に関する報告及び対応の検討

リスクマネジメント委員会

委員長：山本元大

委員：内藤昭貴、大石康介、堀川照美、塚本かなる、森田美保子、堀江晃子、戸塚啓二、山本三郎、渡辺瑛紀、西浦巧一、藤原宏美、水野彩、齋藤順也、平松千鶴、林斐一

目的：医療事故防止に関する検討を行い、安全で正確な医療を目指し、医療事故防止対策の推進を図る。

目標：リスク感性を高め、組織横断的に医療安全に取り組む

- 活動内容：1) 医療事故の報告と分析、対策の検討
- | | |
|-------------|--------|
| アクシデント報告・・・ | 12件 |
| インシデント報告・・・ | 704件 |
| ヒヤリハットメモ・・・ | 2,676件 |
- 2) 月1回 委員会開催
3) ヒヤリハット提出促進活動
4) 職員教育
全職員対象院内医療安全研修会 2回
院内学習会 3回 部署別医療安全学習会 各部署1回
5) 医療安全推進週間開催

院内感染対策委員会

委員長：向井正明

委員：鈴木基裕、増田良江、尾崎征史、原崎浩之、内藤昭貴、高塚正典、松井順子、鶴沢仁美、柴田美香

目的：医療関連感染の蔓延を防止するため、感染管理の方針などを最終的に決定する

- 運営内容：1) 医療関連感染の実態把握
2) 耐性菌検出状況の共有及び感染対策検討
3) 抗生剤使用量及び届出状況の把握、対策
4) 院内感染対策マニュアルの作成、実施及び指導
5) 職員教育 必須研修開催
6) 新型コロナウイルス感染症への対応
7) ICT からの提案事項の検討・連携
8) 職業感染対策に関する事項

感染リンクスタッフ委員会

委員長：柴田美香

副委員長：松井順子

委員：境澤潤、菊池弥生、坂本彩華、川口智也、川口颯太、松井沙衣、西浦巧一、村松希実
南田和也、漢人恒憲、斎藤順也、中山裕子、太田彩、中村裕子、森田友貴、良知美奈子
榎田有紗、横山史典、五島正弘、飯田純子、伊藤美帆、水野綾子、宮川由美子

目的：感染対策チーム infection control team : ICT と連携し、各部署・部門において、感染対策の PDCA サイクルを実践し、医療関連感染の蔓延を防止する

- 活動内容：1) ICT 連携合同ラウンドへ参加し感染対策の問題点の把握と評価実施（12回/年）
2) ICT 連携合同ラウンド問題指摘事項と ICT ラウンド結果の改善と解決
3) 手指衛生教育・啓発（速乾性手指消毒剤の目標管理・手洗いチェッカーでの指導）
4) 職員の教育（勉強会実施・院内感染対策マニュアルの浸透）
5) 委員の教育（院内・院外研修への参加）

栄養管理委員会

委員長：寺島聖子

委員：岩瀬友哉、原崎浩之、増田良江、伊藤裕美、村松希実、給食委託会社職員

目的：栄養管理業務、給食管理業務の向上と円滑化

活動内容：給食サービスの向上に取り組んだ。

- 1) 嗜好調査実施、評価
- 2) 行事食の提案、実施

- 3) 個人栄養指導の充実、集団栄養指導の実施
- 4) 衛生管理方法の確認
- 5) 委託業務内容の検討
- 6) 御前崎市農業振興会から食材提供を受け、市内生産の食材を使用したメニューの提供

輸血療法委員会

委員長：永田富久美

委員：乙呷公通、堀川照美、戸塚啓二、菅野良弥、増田結加

目的：輸血に関する諸問題の検討

- 活動内容：1) 輸血製剤の使用状況についての報告・検討
- 2) 輸血後感染症検査の状況
 - 3) 輸血副作用報告
 - 4) 日赤からの輸血情報の報告
 - 5) 輸血マニュアルの改訂
 - 6) 輸血担当者会議の報告
 - 7) 院内輸血講演会の開催

臨床検査適正化委員会

委員長：高塚正典（技術部：臨床検査科）

副委員長：深澤宙丸（診療部）

委員：伊藤直美（臨床検査科）、堀川照美（看護部）、菅野良弥（事務部）

目的：臨床検査の精度 過誤の防止等検査の適正化を図る

- 活動内容：1) 検体検査管理加算、外来迅速検査管理加算件数、診療報酬請求状況
- 2) 「静岡県臨床検査制度管理調査」「日本臨床検査技師臨床検査制度管理調査」への参加及びその結果の検討改善
 - 3) 提出検体の異常報告、測定結果のパニック値報告状況管理
 - 4) 取り扱い検査の廃止、外注検査について
 - 5) インシデント、クレーム事例の報告と検討
 - 6) 令和5年度委員会開催（8月1日、12月25日、3月25日）

医療ガス安全管理委員会

委員長：山下悠太

委員：乙呷公通、堀川照美、植田淳子、松本聡

目的：医療ガス（診療用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする

- 活動内容：1) 専門業者による年4回の法定点検（3ヶ月点検×2、6ヶ月点検、12ヶ月点検）の実施
- 2) 令和5年度の酸素購入状況について報告

- 3) 医療用ガスの取扱について講習を実施
- 4) 笑気ガスについて、近年使用していないため、令和6年度より供給を停止することを決定

薬事委員会

委員長：境澤潤

委員：鈴木基裕、飯田晴康、戸塚啓二、堀川照美、水野綾子、榎林絵理

目的：当院において使用する薬品の採用・削除に関して、薬理・薬効及び経済性の両面から審議し、患者・病院経営に貢献する医薬品を選定する。

活動内容：今年度は4回委員会を開催し、「臨床試用薬剤」、「新規採用薬剤」及び「削除薬剤」の審議を行った。年間採用薬剤は18品目、削除薬剤51品目、後発医薬品採用7品目であった。令和5年度も昨年同様、後発医薬品指数が90%以上となった。

治験審査委員会及び市販後臨床試験審査委員会

委員長：鈴木基裕

委員：飯田晴康、境澤潤、高塚正典、岡村亮、小田隆弘、水野綾子

目的：臨床治験・市販後調査実施の審議

活動内容：令和5年度は治験の依頼はなく、委員会は開催していない。

安全衛生委員会

委員長：小田隆弘

委員：山下大輔、大石俊明、佐倉東武、堀川照美、曾根ゆう子、松下貴佳、森下有紀奈、松本聡、宮川由美子、堀江淳一

目的：労働基準法、労働安全衛生法、事務所衛生基準規則及び当病院健康管理規定に則り、職員の労働災害、疾病予防と健康の維持増進及び職場環境の改善向上を図る

活動内容：毎月1回委員会開催

- 1) 職員健康診断の管理及び実施
- 2) ワクチン接種の管理及び実施
- 3) 長時間勤務者についての調査報告
- 4) ストレスチェックの実施及び評価
- 5) 院内巡視

医師看護師負担軽減検討委員会

委員長：増田良江

委員：鈴木基裕、大橋弘幸、尾崎征史、佐野信貴、村松由利子、川口恭子、高塚正典、

鈴木定孝、漆沢公麿、原崎浩之、小田隆弘、岡村亮、森山尚美

目的：医師・看護師の業務改善・処遇改善・健康障害防止などについて審議し、計画・実施・評価する。

活動内容：年2回開催 医師負担軽減については、医療関係職種との役割分担、医師事務作業補助者の配置管理、医師確保対策を実施した。医師・看護師負担軽減として、臨床工学技科は透析室の常勤担当医師が不在となる中、管理運営を行い外来看護師と共に透析業務を実施した。加えて、内視鏡検査、手術室スコピストの育成と共に、院内中材業務に向け運営管理を拡大実施した。画像診断科による造影剤注入は調整中、臨床検査科、リハビリ科は前年度の協働を継続した。薬剤科、栄養科のスタッフ減少により業務調整を行い、労働環境を整備した。その他、継続して部門間の連携強化と業務軽減、患者サービスの向上を図った。

病院倫理委員会

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、増田良江、内藤昭貴、尾崎征史、原崎浩之、小田隆弘

院外委員：増田雅伸、阿形昭、阿部裕和、齊藤芳樹

目的：医の倫理に関する事項を総合的に検討

活動内容：随時開催 今年度は、特に案件はなく開催されなかった。

病院研修管理委員会

委員長：大石康介

委員：吉野弘、関係する診療科医師、尾崎征史、栗田智代、堀井直美、原崎浩之、平井朋子

目的：研修医の受け入れ体制及び環境等を整備し、円滑な研修事業を推進するため、研修プログラムの管理、研修医の管理、研修実施状況の確認及び評価を行う

活動内容：随時開催 今年度は、特に案件はなく開催されなかった。

褥瘡対策委員会

委員長：岡本律子

委員：飯田晴康、岩瀬友哉、伊藤裕美、赤堀千佳子、鈴木千裕、村松希実、水野カンナ、松林楓、大石裕也、鈴木彩菜

目的：多職種が専門的知識・技術を用いて協働し、院内の褥瘡発生の予防と褥瘡治療にむけた活動を行う

活動内容：褥瘡診療計画書の立案と評価、月1回の委員会開催時に褥瘡院内発生者、褥瘡対策状況、褥瘡回診症例について報告・検討した。今年度より、月1回であった褥瘡回診を月2回に増やし、褥瘡発生者の治癒促進を中心とした活動を行った。褥瘡発生率は令和4年度0.77から令和5年度は1.3とやや増加した。

	令和5年度
褥瘡診療計画書立案数	830件

褥瘡推定発生率	1.3
褥瘡保有率	5.12
褥瘡回診数	108件

NST委員会

委員長：飯田晴康

委員：岩瀬友哉、岡本律子、伊藤裕美、赤堀千佳子、鈴木千裕、村松希実、水野カンナ、松林楓、大石裕也、鈴木彩菜

目的：患者の栄養管理業務の総括及び実施

安全で効果的な栄養療法の提供のためのカンファレンスの実施

活動内容：各部署による定期的な栄養状態のスクリーニングを実施し、スクリーニングの時点で栄養状態に問題のある患者に対する検討を行うことで早期から対応ができた。また、栄養補助食品を添加するなど、食事摂取量が増える工夫をしており、食事摂取量の把握をできるだけ正確に行うため、食事摂取量チェックをテスト形式で調査し、指導を行った。

令和5年度延べ件数(件)	
スクリーニング抽出数	1,949件
栄養の変更件数	212件
NST介入件数	65件

情報セキュリティ委員会

委員長：鈴木基裕

委員：向井正明、内藤昭貴、増田良江、尾崎征史、原崎浩之、山下悠太

目的：情報資産の保護・開示、情報システム、ネットワーク及びセキュリティについての重要な意思決定をする。

活動内容：1) 個人情報保護方針
2) セキュリティポリシーの見直し
3) 情報セキュリティに対する啓発

医療放射線管理委員会

委員長：鈴木定孝

目的：診療用放射線の安全で有効な利用を確保すること

委員：山本元大 中山雅巳 堀川照美 山下悠太

活動：1) 年1回 委員会開催
2) 防護服・防護メガネの着用の徹底及びガラスバッジ装着方法案内
3) 被ばく線量の管理及び記録その他の診療用放射線の安全利用
前年度分のCT検査の線量管理記録（DRLとの比較）の報告

Angio 装置の基準点での透視線量率を診断参考レベルと比較

- 4) 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修
配信されている動画を視聴
- 5) 当院放射線診療による有害事象の有無と過剰被ばく事案について

DPC委員会

委員長：岡村亮

委員：向井正明、大石康介、村松由利子、戸塚啓二、松林ちか子、博林絵理

目的：標準的な診断及び治療方法、適切な DPC コーディング・診断群分類の決定、円滑な DPC 診療報酬の請求など、DPC 業務の適正な運用を図る

活動内容：年 4 回委員会を開催。(6 月、9 月、12 月、3 月)

DPC コーディングの問題点の改善、DPC 運用の課題について協議、DPC データ分析・経過報告、DPC/PDPS 傷病名コーディングテキストの活用方法、コーディング事例等についての検討を行なった。

特記事項：平成 22 年 4 月から DPC 準備病院、平成 24 年 4 月から DPC 対象病院となる。

診療情報管理委員会及び図書委員会

委員長：飯田晴康

委員：乙呷公通、川口恭子、伊藤裕美、佐野信貴、渡邊瑛記、安江太、岡村亮、水野綾子、松林ちか子

目的：診療録・診療情報の適切管理、診療記録の質向上。図書室の管理運営の円滑化。

活動内容：2 か月に 1 回開催 カルテ監査、診療記録の文書管理、退院サマリー作成率、電子カルテ未承認について等の検討および報告 図書は年間の図書費の計画と執行

化学療法運営委員会

委員長：大石康介

委員：大橋弘幸、堀川照美、曾根ゆう子、永田あかね、水野カナナ、村松希美、水野綾子

目的：当院における円滑かつ安全な化学療法の推進を図る。

活動内容：今年度は3月8日に開催し、規約と外来ケモ室のベッド使用、ケモ前の検査の実施の徹底について審議した。

化学療法レジメン管理委員会

委員長：大石康介

委員：大橋弘幸、堀川照美、曾根ゆう子、永田あかね、水野カナナ、村松希美、水野綾子

目的：当院で実施される、全てのレジメンの妥当性を科学的根拠に基づき評価し、管理・承認を行う。

活動内容：今年度は3月8日に開催し、規約についてとレジメンの新規登録とレジメン変更及び削除の報告があった。

令和5年度 新規登録 1件 削除 1件 現在登録 82件

診療材料等管理委員会

委員長：大石俊明

委員：尾崎征史、松井順子、堀川照美、榎林絵里、菅野良弥

目的：診療材料等の採用、変更、取り消しに関する審査を行う。

活動内容：診療材料や試薬の購入、使用及び保管について、診療や経済性観点で審議をした。

情報システム委員会

委員長：山下悠太

委員：乙峠公通、栗田智代、西川美佐子、植田淳子、境澤潤、永田素広、塚本かなる、漢人恒憲、藤田昌子、河田祐貴、齋藤順也、匂坂克善、菅野良弥

目的：情報のシステム化を多方面から検討し、システムの活用を効率的に行うことによって各種業務の合理的運用を図り、医療レベルと患者サービスの質の向上を目指す。

活動内容：電子カルテシステムや病院情報系システムに関する諸問題の解決や、運用面の見直し等の検討を行い、総合的にシステムの安定を図った。

健診運営委員会

委員長：佐倉東武

委員：宇於崎宏城、鶴澤仁美、藤原宏美、藤田昌子、佐藤理乙、松下貴佳、宮川由美子

目的：健診業務の円滑化と人間ドック・健康診断の充実を図る

活動内容：随時開催

- 1) 4月に年間スケジュールを計画し、スケジュールどおり業務遂行可能か検討する
- 2) 検討事項（料金改正・新規検診項目など）が発案された場合に委員会を開催する
- 3) 市委託の婦人科検診、特定健診、がん検診等を継続実施
- 4) 職員健康診断への協力
- 5) 市職員健康診断継続実施
- 6) 感染症防止対応について
- 7) オプション検査について

質向上委員会

委員長：堀井直美

委員：山下大輔、尾崎征史、佐野信貴、村松由利子、齋藤順也、松下貴佳、中山雅巳、遠藤秋子、森田美保子、杉山弘美、鈴木直江、森山尚美、増田恵美、宮川由美子、

高木美幸、中山絵里、増田千晃、小笠原慎、松下直生、中山奈津紀

目的：医療、職員の質の向上を図るための活動企画及び運営をする

- 活動内容：1) 院内学術発表会、院内研修、接遇研修(オンライン)の企画・実施
2) 患者満足度調査、外来診察待ち時間調査の実施
3) 接遇マニュアルの改正
4) 中東遠地区5病院接遇相互評価の実施
5) 各部署での接遇振り返りの実施
6) 院内各委員会研修予定及び実施報告書の管理

患者支援センター運営委員会

委員長：鈴木基裕

委員：原崎浩之、岡村映子、鶴澤仁美、岡村亮、匂坂克善、野ヶ山由浩、永田剛、中山絵理、浅井いくみ、高木美幸

目的：医療機関・介護支援機関との連携強化、医療サービス・介護支援、地域のケアミックス病院として医療の充実を図る。

活動内容：隔月1回委員会を開催

統計・業務実績報告、院外会議の報告、ふじのくにねっと運用、患者支援センターだよりについて、近隣施設との連携等の現状報告、対応検討

広報委員会

委員長：村松光浩

委員：山本元大、岡村映子、落合しおみ、鈴木颯人、河田祐貴、水野綾子、五島正広、増田緑

目的：病院広報紙・年報の編集・発行、病院ホームページの管理

- 活動内容：1) 広報紙「はまかぜ」を年4回(4、7、10、1月)発行
2) 年報(令和5年度版)の編集・発行
3) ホームページの管理
4) ホームページの職員採用サイトのリニューアル
5) 市公式LINE運用
6) 広報のあり方検討

クリニカルパス委員会

委員長：山本元大

委員：村松山利子、永田あかね、村松希実、永田素広、小栗里美、小栗裕美子

目的：クリニカルパスの作成・承認、評価・修正を行い、推進を図る

- 活動内容：1) バリエーションの統計とパス日数の修正
2) クリニカルパスの作成
3) クリニカルパスの修正

救急委員会 運営部門

委員長：鈴木基裕 内藤昭貴

委員：鶴沢仁美、森田美保子、高塚正典、鈴木定孝、小田隆弘

目的：病院の理念にのっとり、患者の救急受け入れ体制を適切に機能させる

- 活動内容：1) 救急委員会規約について検討・承認
2) 救急体制について検討
3) 救急患者対応表の報告と、受け入れ不能事例の検討
4) 救急患者対応に関する問題事例の検討・対策

救急委員会 危機管理部門

委員長：増山道典

委員：山下大輔、岩瀬友哉、増田良江、鶴沢仁美、萱野美由紀、知久宮子、栗山奈智子、市川裕之、赤坂京子、高塚正典、鈴木定孝、山本三郎、八木裕介、漆沢公磨、永田あかね、村松希実、齋藤順也、伊藤加恵、堀井直美、杉山弘美、清水空海、落合永典、長嶋さか江、五島正広、奥柿勇人

目的：火災・震災及びその他の災害の予防並びに人命の安全を図る。

活動内容：事業継続計画（BCP）見直し、懸案事項の改善

その他、下記のとおり実施した。

- 4月14日（金） 災害発生時職員等参集予測調査
- 5月18日（火） 春季防災訓練「消火訓練、放水訓練」
- 6月14日（水） 災害時等停電、公共上水道断水時対応勉強会
- 8月8日（水） クロノロジー勉強会
- 12月3日（日） 院内総合防災訓練
- 12月13日（水） 院内総合防災訓練反省会・改善検討
- 2月4日（日） 原子力総合防災訓練、災害時安否確認訓練「メール配信による確認」

救急委員会 原子力災害対策部門

委員長：鈴木基裕

委員：山下大輔、岩瀬友哉、増田良江、堀井直美、鈴木定孝、安江太、小田隆弘

目的：原子力災害に対し緊急対応を検討し、実施及び啓発を行う

活動内容：随時開催 今年度は、特に検討案件はなく開催されなかった。

原子力災害合同訓練は、能登半島地震の災害復旧対応等の影響もあり今年度は中止となった。

救急委員会 研修部門

委員長：岡村映子

委員：堀江晃子、曾根ゆう子、増田留美、榎林真子、岡田佑己、野ヶ山拓弥、齋藤順也

目的：職員が一次救急医療の技術を身につけ、有事に適切に対応できるよう指導や研修会を実施する。

活動内容：1) 新人職員を対象に一次救急研修を実施

2) 各部署所属職員を対象に、定期に一時救急研修会を実施 2回/年

3) CAC コールのシミュレーションの実施 3回/年

院内倫理委員会

委員長：鈴木基裕

委員：増田良江、尾崎征史、佐野信貴、岡村映子、川口恭子、小坂明美、戸塚啓二、永田素広、藤田昌子、漢人恒人、小田隆弘、岡村亮、森山尚美

目的：院内の臨床研究に関する審査、院内倫理に関する審議、職員への倫理に関する啓蒙活動及び教育

活動内容：会議は8回開催した。臨床研究12題に対する審査、同意書の追加審議、院内での倫理上気になる事例報告に対して、検討を行った。職員研修は、ACP意思決定支援について、講師をしるわクリニック綱分信二先生、あかつちクリニック松田真和先生に依頼し開催した。

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

委員長：鈴木里江

委員：向井正明、萱野美由紀、佐野信貴、八木裕介、小栗裕美子、浅井いくみ、加藤一浩

目的：回復期リハビリテーション病棟の運営、近隣病院や施設との連携

活動内容：毎月委員会を開催 回復期リハビリテーション病棟の利用状況（病床利用率、入退院患者数、入院紹介元、入院対象疾患、退院患者の転帰先等）、施設基準（重症患者入院率、在宅復帰等）、収入統計、入院相談状況の報告及び検討を実施

ベッドコントロール委員会

委員長：堀井直美

委員：小栗裕美子、栗田智代、鶴沢仁美、川口恭子、村松由利子、鈴木里江、岡本律子、岡村映子、村松依見、浅井いくみ、榎林絵理

目的：在宅療養支援と健全な経営を行うため、各部署の施設基準や診療報酬の算定要件を考慮した円滑な転棟・転院を実施する

活動内容：毎週火曜日 11時～

各部署のベッド稼働及び空きベッド状況、施設基準や診療報酬算定要件に関する事項、他施設の稼働状況等の情報を共有し、部署間での協力体制をとった。ベッドコントロールがスム

ーズに行えるように、急性期病棟間、回復期・慢性期病棟、老健施設との連携を図った。
今年度も、複数の病棟で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し制約はあったが、
回復期・慢性期病棟、老健施設のベッド稼働率は昨年度より上昇した。
委員会では困難事例を検討するなど、一人ひとりの最適な次の療養場所を調整した。

排泄ケア委員会

委員長：鈴木里江

委員：内藤昭貴、岡本律子、遠藤秋子、澤入未来、佐々木きよ美、海野愛奈、戸塚啓二

目的：患者の排泄ケアに関する業務を総括・実施し、安全かつ効果的な排泄ケアを提供することと
排尿自立対策を組織的に検討し、その効率的な推進を図る

活動内容：排尿自立支援のための多職種での介入
勉強会の実施

認知症ケア委員会

委員長：川口恭子

委員：鈴木里江、曾根ゆう子、松下摩耶、大石澄子、服部洋子、鈴木梨恵子、鈴木純子、中山絵里、
川島奈緒、塚本かなる、境澤潤

目的：多職種が専門的知識・技術を用いて協働し、認知症患者の身体疾患の治療と生活
支援を行う

活動内容：認知症ケア加算、せん妄ケア加算算定に関する活動